第13回日本アグーナリー現地説明会参加報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 令和元年8月16日

 　　　　　　　 浅口第2団 田中茂樹

1.目的：現地確認､情報収集｡

2.開催日時：令和元年8月11日(土)14:00～8月12日(日)11:00

3.開催場所：福島県･国立磐梯青少年交流の家（福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原７１３６－１）

 ･･･開所 1966年5月､標高約600m､会津磐梯山(標高1816m)のふもと

4.参加者：① 13NA実行委員会･日本連盟事務局：増子実行委員長他計13人

 ② 参加予定団： 57個団 74人 （ ⇔ 12NAの現地説明会は32個団全41人）

 ･･･地元福島や東京､埼玉､千葉などが多く､中四国･九州は岡山､山口､愛媛､福岡の各1個団計5人のみ｡

5.説明会内容

 (1)会場利用計画

･会場の国立磐梯青少年交流の家の面積は東京ドーム4個分の広さ｡

標高600mで会場内の標高差は70m､

道路は舗装されているが､坂道が多く､最大斜度19°と道路の傾斜はきつい｡

･会場内の運航車両は安全確保のため業務用車両と電動カート6台(8人乗り)のみ

･来場車は駐車場で人･荷物を降ろした後､猪苗代スキー場駐車場(3.2km 約10分)に移動し留め置きする｡

運転者はシャトルバスを利用して会場に帰る｡

 ･本館前の「集いの広場」にステージを作る｡

 ･プログラムエリアをテニスコートと400m陸上競技場の中に設置する｡

 ･ユニファイドSC(ベンチャー奉仕隊)の食堂と風呂を野球場に自衛隊が設置する｡

 ･フードコートを「ふれあい広場」に設置する｡ゴーゴーカレーも出店予定｡

 ･本館横の食堂は1度に300人食事可能｡

 ･本館内に売店､喫茶店あり｡飲み物の自動販売機も複数台あり｡

 ･宿泊棟は約220人宿泊可能｡ 部屋は8畳間で1部屋に7人｡

但し､4部屋のみ常時外国人研修生用に使用されている｡

 ･野営は常設テント使用をメインにするが､持込テントも可｡

 ･常設テントは1張り10人程度宿泊でき､計25張りあり｡

 ･持込テントサイトはあまり無く､計10張り程度？

 ･施設内の水道の水は名水で冷たくておいしい｡

 ･食堂へ車椅子で行けるようスロープを設置済｡今回の現地説明会で車椅子使用の参加者が実際に使用して確認した｡

 →屋外なので､雨天時用に簡易の屋根設置を要望｡

 ･場内にクマよけのベルが設置されている｡

 ･喫煙場所は本館の外にあり｡他に屋外に設置予定｡

(2)総合サービスセンターの計画

 ･予定申し込み：予定申込書に予納金5千円を添えて2020年2月5日までに所属県連に提出｡

 ･確定申し込み：確定申込書に参加費の残金25千円を添えて2020年5月15日までに所属県連に提出｡

 ･場外プログラムは場内プログラムと並行して3日間行なう｡

 ･場外プログラムのバス代は大会負担､施設の入場料やその他経費は参加者負担｡

 ･場外プログラムは確定申込時に申し込む｡(場合によっては調整あり)

 ①会津歴史探訪 ･･･1日コース ：鶴ヶ城､飯盛山､会津日新館､野口記念館

 ②五色沼ハイキング ･･･半日コース

 ③小野川湖カヌー体験：13日～15日午後に開催 ･･･1時間30分を2クール

 ･宅急便：クロネコヤマトに会場受付所の設置を交渉中｡

 ※宅急便は国立磐梯青少年交流の家宛に送付､届け先に13回アグーナリーとSC･所属隊を明記する｡

 ･野営資材(ベニヤ､角材､ブルーシート､竹材､等)の予約販売検討中｡

 ･氷の事前予約販売検討中｡

 ･受付は会場研修者駐車場に設置の受付で行う｡

(3)生活サービスセンターの計画

 ･会場内にトイレ(含む車椅子対応トイレ)､シャワーを追加設置する｡

 ･食事はトレーにセットして提供する｡弁当の場合もあり｡食券を発行する｡

 ･参加隊(舎営及び野営)は交流の家の食堂と風呂を使用する｡

本部スタッフ(奉仕)は自衛隊が野球場に設置する食堂と風呂を使用する｡

※本部スタッフは野営｡

(4)活動サービスセンターの計画

 ･プログラムは1時間が基本単位で､午前･午後2単位ずつ計画｡

 ･全体行事

 ①開会式 ･･･つどいの広場

 ②閉会式 ･･･ ↑

 ③国際交流の夕べ ･･･ 同時刻に猪苗代町の花火大会があり､見える｡

 ④磐梯の夕べ ･･･ 夏祭り､浴衣などを着ても良い

 ⑤スカウトフォーラム

 ･場内プログラム

①全員参加プログラムで会津の思い出に赤べこの色づけを計画｡

②有料プログラム ･･･魚のつかみ取り､炊事体験(塩焼き)

③アクティビティプログラム ･･･

川下り：400mのコースを設定

ウォーター滑り台：弓道場と道路の間の芝生スロープにシートを敷き水を流して滑り台にする｡

 ④ゲームプログラム ･･･卓球バレー､ボッチャ､フライングディスク

 ⑤会場施設プログラム ･･･ここどこオリエンテーリング､白虎隊オリエンテーリング､宇宙文字､スローガンオリエンテーリング､

 ⑥体験プログラム ･･･ハンディキャップ体験､ドローン体験､天体観測(20時～21時)

 ⑦講演･展示プログラム ･･･防災･減災･まちづくり･地域作り､啓発Knock the Door

 ⑧自由隊活動 ･･･ ハンモック 20式､ボルダリング､

 ⑨交流プログラム ･･･国際交流の夕べ､磐梯の夕べ､

 ⑩他 ･･･ シルクスクリーン等

(5)インフォメーションセンターの計画

 ･広報､新聞発行､ユーチューブライブ(全体行事のみ提供)

 ･信仰奨励は各隊で行う｡

(6)ローバーサロン企画　・・・ローバースカウト奉仕者の統括・管理

(7)グループディスカッション報告書

 ･12NAについて2017年7月にWebでアンケートを実施｡

 それをもとに宮城､愛知､大阪､東京でグループディスカッションを行い､報告書にまとめた｡

 ･アグーナリーについては口コミで知った人が多かった｡

 ･12NAは､今までのアグーナリーでは出なかったマイナスの印象を持った人が出てきた｡

 ･12NAは､インフラの状態が良くなかった｡

 ･12NAは奉仕者への研修不足､準備不足が多かった｡

 ･ボランティアの再編が必要｡

(8)ユニファイドサービスセンター(SC)の計画

 ･ユニファイドSCとは､ベンチャースカウトが参加隊とプログラムや生活を通じて､共生を体験する｡

 ダイバーシティ(多様性､共生)の推進のため､今までの名前のチャレンジクルーをユニファイドに変更｡

 ユニファイド･･･いっしょに活動し､成長していく｡

 ユニファイドキャンプに広がっていくことを期待｡

 ･ユニファイドの活動

 ①研修(理解推進) ･･･大会前に県連研修｡大会後研修

 ②共生の体験(ダイバーシティ＆インクルージョン ･･･多様性と一体化 )

 ③フォーラムによる体験の共有と自己成長

 ④個別相談

 ･ユニファイドの組織 ･･･6人で1チーム､4チーム24人で1ユニットを編成し､5ユニット120人を計画｡

 ･ユニファイドの野営生活

 参加隊との活動は専属を原則とする｡

 プログラムの奉仕体験も担当する｡

 野営生活は自分たちで運営する｡

 生活面や野営においては､ユニット単位とする｡

 ユニット毎に､可能な限り野営地を集約する｡

 食事及び風呂は自衛隊による提供｡

 秩序維持を目的として､ユニットに隊長･副長がつく｡

 ･ユニファイドの課業

 奉仕時間は､9時～12時と13時～16時｡

 奉仕はバディ単位以上とする｡1人では活動しない｡

 ･安心して活動できる環境の構築

 課業終了時の報告への対応

 課業中の問題点や考慮すべき案件への対応

 クルー側の心身的な問題発生や相談の対応

(9)一般サービスセンター

 ･一般参加者受入れ

①通常学級の小学生(中学生) 1泊2日 20人程度 (8月13～14日､ 14日～15日)

 2･3人毎に参加団に合流し､大会に参加｡

 必要に応じスタッフやユニファイドが同行し支援する｡

②障がいのある小学生･中学生･高校生

 スタッフ･一般参加ユース･ユニファイドと共に参加団と同様な隊編成を行い､大会に参加｡

 ボランティア棟及びその周辺にサイトを設け､参加団と一緒に集えるエリアも計画し､参加団とたくさん交流する｡

 1泊2日コース 10組 (障がい児5人引率者5人×2クール) (8月13～14日､ 15～16日)

 2泊3日コース 5組 (障がい児5人引率者5人×1クール) (8月14～16日)

③ユース年代 全日参加 5人程度 一般参加SCのスタッフと共に大会に参加

④デイビジター (日帰り) 12NAと同様

(10)安全危機管理室

 ･大会の安全･危機管理､セーフ･フロム･ハームに関すること

(11)大会事務局

 ･参加者に書いてもらった絵をのぼり旗にして､大会時にそののぼり旗を立てて迎えたい｡ →絵を募集する｡

 ･ゴーゴーカレー､ヤクルト､イオン、等に協賛してもらう｡

 ･参加者にはドリームアワード実施｡一般参加者にはデイアワードを渡す｡

(12)質疑等

 ･郡山から猪苗代までの磐越西線は混んでいて､荷物を持った参加隊が利用すると一般の乗客に迷惑をかけるので､

 郡山からバスを仕立ててもらえないか？ → 検討する｡

 ･八王子から4時間の予定で車できたが､7時間かかった｡新宿バスターミナルからバスを出してもらえないか？ →？

 ･尼崎第25団ですが､今回もドラム隊を行うが､楽器の保管場所を確保してもらえないか？ → 検討する｡

 ･お茶を食堂で提供してもらえるが時間が限られている｡24時間提供してもらえないか？

→ 無理です｡水が良いので水道の水で十分､水道の水を利用して下さい｡

6. 旅程

 ①往路： 新倉敷 6:47～6:57 岡山 こだま724

岡山7:02～10:23東京 のぞみ110 ･･･東京駅は帰省ラッシュで混雑しており､構内は暑くて大変だった｡

東京11:28～12:44郡山 やまびこ163

郡山12:52～13:27 猪苗代 磐越西線快速 ･･･混んでいた｡乗車率200%位｡

猪苗代 ～ 磐梯青少年交流の家 迎えのバスで約10分

 ②復路： 磐梯青少年交流の家～猪苗代 長野第15団の竹元さんの車で送ってもらった｡

 猪苗代11:38～12:12郡山 磐越西線快速

 郡山12:30～13:48東京 やまびこ138

 東京14:10～岡山17:23 のぞみ39

 岡山17:38～17:47新倉敷 こだま751

 新倉敷～猪苗代往復料金45,660円 切符は7月13日に購入したが､東京～郡山の指定席は残り1席しかなかった｡

7. 所感等

 ･アグーナリー開催の1年前の現地説明会であったが､前回の反省をもとに計画は良く進んでいるように感じた｡

 ※前回の現地説明会は開催の4か月前であった｡

 ･会場のインフラは前回より良い｡建物は年数は立っているが､整備されている｡前回のような雨漏れのあるひどい建物ではない｡

 道路は舗装されている｡また､障がいのある人用に場内移動に電動カートも準備される｡

 ･現地説明会を開催1年前に早めたことも含め､必ず成功させたいという意気込みが感じられた｡

 ･今後浅口第2団の参加者を募り､参加隊を編成し参加したい｡

スカウトの参加がない場合は､奉仕での参加を検討する｡

8.同室だった方のお話

･山口県の光第3団の竹内さんのお話

 スカウト10人(3個団)､指導者10人(多数団)の計20人で県連派遣隊を作り参加計画中｡

 障がいスカウトは5人､障がいのある18才以上は指導者で参加｡

 大声をあげる障がいスカウトがいるので､他団の迷惑にならないよう､少し離れたキャンプ地を希望｡

 キャンプを楽しみにしていていつも使うテントにこだわりのあるスカウトがいるので､テントは持ちこむ｡

 バスでの輸送を計画中｡

※竹内さんの団には障害スカウトはいないが､毎回参加隊長としてみんなを引っ張っているようで､非常に熱意のある方｡

 ･長野第15団の竹本さん(BS隊長)、林さん(BS副長)

 アグーナリーは初めてで奉仕で参加予定｡

 長野県キャンポリーが同時期にあるがアグーナリーを優先する｡

　　　１年前の説明会をなぜ2日間もするのか､1日でいいのではと思っていたが､計画･準備がここまで進んでいたのかと驚いた｡

9.説明会の資料

 ･第13回日本アグーナリー現地説明会日程

 ･13NA現地説明会参加者名簿

 ･第13回日本アグーナリー(国際障がいスカウトキャンプ大会)基本実施要領(案)

 ･会場利用計画案

 ･第13回日本アグーナリー総合SC説明

 ･13NA生活サービスセンター部

 ･場内プログラム一覧

 ･ユニファイドSC

 ･第13回日本アグーナリー現地説明会 一般参加SCより (依頼)

 ･特別支援教育研究8月号の抜粋コピー

 ･第13回日本アグーナリー(国際障がいスカウトキャンプ大会)参加申込要領

以上